



ニュースレター

2022年（令和4年）11月7日 グリーフワークかがわ広報部

令和4年度傾聴ボランティア養成講座（高松後期会場）報告

2022年9月21日（水）香川県社会福祉総合センターにおいて傾聴ボランティア養成講座が行われ、受講者は8名で、当法人から講師として認定グリーフカウンセラーの池島邦夫と青井恵子が派遣されました。担当講師からの報告は以下のとおりです。

前半は、青井から傾聴の基本的な考え方（傾聴、受容、共感の流れ）について講義を行い、実践として3人ずつのグループに分かれてロールプレイを行いました。ロールプレイは、非言語コミュニケーションのみ、言語コミュニケーションを併せたケースと様々なパターンを通じて、参加者全員がクライアント、カウンセラー及び観察者の役割を体験できるようにしてゆっくり進めていきました。

後半は、「グリーフ」をテーマとして、グリーフの基本的な考え方（喪失の意味、悲嘆、悲哀の感情等）について講師の池島から説明を行ったあと、個人ワークとして各自、自分の半生の中での喪失体験をまとめた後、グループディスカッションを3人組に分かれて、自己の喪失体験を振り返っての意見交換を行いました。

担当講師の感想として、今回の養成講座も、アイスブレイク、ロールプレイ等を中心とした研修により、参加者同士の相互理解も深まり、基本的な傾聴の考え方、手法について理解が深まったように思われたとのことでした。

（文責 担当講師 池島邦夫）

【報告】

香川県 第1回 第2期いのち支える香川県自殺対策計画策定委員会

2022年10月12日（水）、香川県庁本館12階大会議室において、第1回 第2期いのち支える香川県自殺対策計画策定委員会が開催され、当法人から理事長杉山が出席した。この会議は、2018（平成30）年に策定された「いのち支える香川県自殺対策計画」について5年ごとの見直しの年度に当たり今年度内に第2期計画を策定するための会議である。

障害福祉課土手課長の挨拶に続き、本委員会設置要綱の説明があり、本委員会会長として香川県医師会常任理事大原昌樹氏が選出され、本委員会は公開とすることが決定された。議題に入り、自

自殺対策基本法の目的と基本理念、自殺総合対策大綱の概要、香川県における自殺の現状と取り組み状況の評価に触れ、第2期いのち支える香川県自殺対策計画骨子(案)の説明があった。

会長から、委員全員に質問と意見が求められた。委員は学識経験者、医療従事者、民間支援団体、行政関係者から構成されている。教育現場、警察、医療現場における実践からの意見が述べられ、民間支援団体としてマインドファーストからは、心を病むことが決して特別な人に起こることではなく私たちすべての問題であり、ゲートキーパー普及啓発や出前講座の継続を通して人材育成の重要性が語られた。当法人から、自殺対策を「鬱対策」という医療モデルで捉えていた時代から、生活者視点で暮らしのなかに自殺の危機はあるという捉え方に変化してきていること、ライフサイクルすべて、我々すべてが当事者であること、そして大きな講演会を行うよりも地道に地域で普及活動を継続していくことの意義を発言した。

閉会の挨拶として土手課長は次のように締めくくられた。「『計画』というのは抽象的な表現に偏りがちだが、こうして関係者が現場での役割や抱えている課題を持ち寄り、意見を出し合うことで何をすればいいかが見えてくる。行政は「連携」という言葉を好んで使うが具体的にどうすることなのかが見えづらい。言葉で安心するのではなく実践についてもっと考え、実行しなければいけないと考える。」

委員はすべて現場の人である。会長が全員から意見を求めたことは、第2期いのち支える香川県自殺対策計画を、実践から導き出される有機的な計画にするという意志表示であると思う。策定委員の一人として、自殺対策計画はゆっくりであっても確かな気づきを促していることを感じると同時に、その動きを決して止めてはならないという責任を感じる会であった。

(文責：杉山洋子)

「公開セミナーのご案内」

9月18日に予定していた第45回セミナーは台風14号の接近のため中止になりました。予定していた「子どものグリーフワーク ～喪失は日常の中で起きている～」は今年度内に開催する予定です。

2022年度公開セミナー

テーマ：暮らしのなかのグリーフワーク

会場：丸亀町レッツ カルチャールーム1

高松市丸亀町壱番街東館4階

第 45 回

日時 11月27日(日) 14:00~15:30

テーマ 高齢期と喪失

講師 池島邦夫 グリーフワークかがわ認定グリーフカウンセラー, 社会福祉士

内容 高齢期においては, 親や配偶者, 親しい友人の死など, これまで自分の人生を支えてくれた大切な人との別れなどがあります。このような喪失は, そのあとの人生に大きな影響を与えると考えられます。講師自身もこのような経験をしており, 参加者の皆様とのグループディスカッションなどを通して, 高齢期における喪失について理解を深めたいと考えております。

第 46 回

日時 12月18日(日) 14:00~15:30

テーマ 仏教の生活の中に息づくグリーフケア

講師 秋山美智子 グリーフワークかがわ認定グリーフカウンセラー, 真宗興正派慈照寺坊守

内容 古くからある法要やお墓参りなどの仏教の営みは, グリーフワークとして人々の生活の中に溶け込んでいました。希薄になりつつある今, 改めて亡き人とつながる営みをたいせつにすることによってうまれるケアを振り返り, そこに関わる人々のセルフケアについてみなさんと考えてみたいと思います。

詳しくはホームページをご覧ください

<https://www.griefwork.jp>

報 告

◆2022年10月8日 第176回理事会◆

《審議事項》

第1号議案 前月の会計に関する事項

理事長からの9月末現在の会計報告について了承された。10月29日には上半期の監査の予定である。

第2号議案 グリーフカウンセラーの資格認定規則改訂に関する事項

第175回理事会で養成講座修了者の資格申請を「本年度と前年度の養成講座修了者」とすることで了承された。グリーフワークかがわグリーフカウンセラー資格認定規則第六条3の改訂について審議し, 「2年以内にグリーフワークかがわが実施する養成講座を受講し, グリーフカウンセラーとして必要な知識及び技能を習得し, かつ認定委員会において認められた者」に変更することで了承された。また, 「グリーフワークかがわヘルプラインカウンセラー資格認定規則」は, 2022年3月13日付で廃止することで了承された。

第3号議案 事業説明会に関する事項

11月17日に予定している事業説明会の内容, 担当者, 案内について第175回理事会での審議をもとに作成した修正案について審議し, 提案どおりで了承された。10月17日を目途にホームページに掲載し養成講座の受講者には文書で手渡す。当日は理事が中心となってい, 資格認定の手続きは植松理事より説明することで了承された。

第4号議案 令和4年度高松市自殺対策推進会議に関する事項

高松市保健センターから案内があった令和4年度高松市自殺対策推進会（11月14日開催）には杉山理事長が出席することと、自殺対策の取組み及び意見については、会議への市長の出席を要望する内容を記した理事長案で提出することです承された。

第5号議案 ゲートキーパー普及啓発事業への講師派遣に関する事項

ローマ副理事長より、12月6日開催する讃岐学園のゲートキーパー普及啓発事業の事前打ち合わせが9月30日に行われたことが報告された。理事会より講師として花岡理事を推薦すること、また、ローマ副理事長がセルフケアについて担当することです承された。

第6号議案 プロシユール作成に関する事項

プロシユール7種について、2000部ずつ増刷することです承された。また、増刷に際し、内容について意見を募り10月末までに原稿を確定し11月中に印刷発注をAIYAシステムに依頼することと、送付先について確認することです承された。

第7号議案 令和4年度テーマ募金チラシ作成に関する事項

令和4年度テーマ募金チラシ案について審議し、昨年度と同様の内容に加え、グリーンワークかがわについての説明を追加することで依頼することです承された。